

美濃加茂市は令和3年に「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。現在、市では「ローカルSDGs みのかも」を掲げ、さまざまな取り組みを始めています。この特集では、「健康」「経済」「里山」の3つのキーワードから市のSDGsを紹介するとともにSDGsを通して、第6次総合計画の主要テーマである「健康」を実現するための仕組みについても紹介します。

SDGs推進室（商工観光課） ☎ 内線261



※令和4年2月10日発行号で特集した「SDGs未来都市 みのかも」の取り組みについては、右の二次元コードからもご確認いただけます



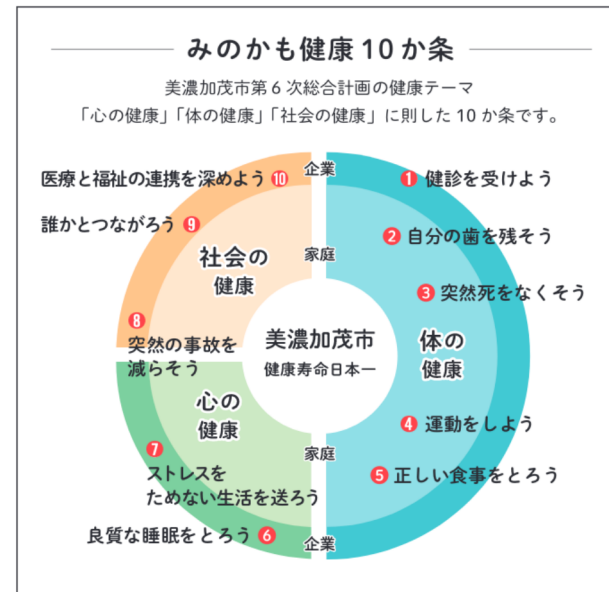
美濃加茂と「SDGs」

国は、持続可能なまちづくりを重要と捉え、「経済」「社会（暮らし）」「環境」の新しい価値創出を通じて、持続可能な開発を実現する取り組みを進める地方自治体を「SDGs未来都市」として選定し、その中でも先導的な取り組みを「自治体SDGモデル事業」として選定しています。

市では、令和3年にこの両方に選定され、「ローカルSDGs みのかも」として第6次総合計画「ウオーカブルシティ」の主要テーマである「健康」や「里山千年構想」などと連携、地域の「経済」「社会」「環境」のさまざまな課題を解決し、よりよいまちを目指しています。

みのかものSDGsで健康寿命日本へ

「ローカルSDGs みのかも」の実現には、行政だけでなく、市内の企業やステークホルダー（活動を行うことで影響を受ける利害関係者）、市外の企業からのアイデアなどが大切です。



そのため、2021年5月に、関係者らで構成される「みのかもSDGs推進協議会」を設置。脱炭素化（ゼロカーボン）と地域活性化のためのエネルギー事業などが検討され、再生エネルギーの利用と環境への配慮、地域経済を循環させるための協議が進められています。

また主要テーマの1つ「健康」では、「心・体・社会の健康」に注目し、今までも提案してきた取り組みを家庭や企業（会社）だけではなく、双方の視点から健康づくりについて考えた「みのかも健康10か条」を提案。健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）日本一を目指します。

ローカルSDGsの柱【健康】

健康のためにはさまざまな取り組みがありますが、それらを個人や家庭、企業だけで考えることは難しいと思います。それぞれに得意不得意があり、「「できること」「できないこと」が必ずあります。それらを明確にしてお互いに支え合い、地域につながるものが、これからの健康づくりに必要であり、循環型社会を目指すSDGsに通じることもありません。

ローカルSDGsの柱【経済】

一つの企業でSDGsが掲げる17の目標すべてを達成することは難しいと感じています。そのため、それぞれの企業でできることを見つけて、始めてみるのが重要です。SDGsをまち全体で考え、実行することで美濃加茂市が市内の人から「住みたいまち」だと感じてもらうために、経済、社会、環境の3つの側面から総合的な価値観の中でまちを作り直す必要があるのではないのでしょうか。

ローカルSDGsの柱【里山】

子どもたちが森林を学びの場として活動する「森のようちんた」をはじめ、事業者が交流や研修などを目的に里山を整備・活用する「企業林」は、里山の魅力を未来へと残す「里山千年構想」にも必要な取り組みです。資源である里山を守り、活用していくことが、SDGsにつながる取り組みだと感じています。里山整備にICTを活用するなど、時代に合った取り組みにも挑戦していきたいと思っています。



可茂森林組合 参事  
井戸 正也さん  
IDO MASAYA

みのかもSDGs推進協議会委員。市内の森林整備や里山再生事業を通して、里山千年構想の推進を主導。



加茂自動車(株)グループ 取締役社長  
鈴木 登さん  
SUZUKI NOBORU

みのかもSDGs推進協議会会長。4期12年にわたり商工会議所会頭を務め、地元経済界をけん引。



中部国際医療センター 副院長  
山田 実貴人さん  
YAMADA MIKITO

みのかもSDGs推進協議会の副会長を務め、健康寿命日本一を目指すため「みのかも健康10か条」を提案。

ローカルSDGsの実現へ

ローカルSDGs みのかもの実現に向け、「健康」では「みのかも健康10か条」に沿った健康づくりの取り組みを実施し、市民の健康増進を促していきます。このほか、「経済」では、社会課題を税金で解決する視点から、ビジネスチャンスへと変えるソーシャルビジネス（公共）の事業を「民間」がビジネスで事業化することの創出を目指します。また、「里山」では、「里山千年構想」を中心に、地域ごとに特色ある里山整備を進めていきます。「森林整備」「事業展開」「木育」「里山活用」を基本とし、豊かな里山を未来へ残していきます。「健康」に生活し、働くことは地域の「経済」を豊かにすることに繋がります。また、「里山」を活用しながら次の世代に残していくことは、持続可能で自律的な好循環社会を実現するSDGsの理念につながっています。個々の取り組みがつながり、地域に広がることで、「ローカルSDGs みのかも」の実現を目指します。